

令和6（2024）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修③ 実施報告

実施日：令和6年6月12日（水）

本研修では、新たに生涯学習・社会教育関係職員として配属された方々が、業務を遂行する上で必要となる社会教育行政に関する基礎的知識や学習プログラムの企画・立案の技術等を学びます。第3回は総合教育センターに集合し、35名の方が受講されました。

また、本研修は「公民館職員基本研修」と合同で実施しました。

○講話・演習「社会教育における学びの形～公民館での学びを中心に～」

講師：宇都宮大学 地域創生推進機構 宇大アカデミー 教授 佐々木 英和 氏

今回の講話では、人づくり・つながりづくり・地域づくりの拠点となる公民館での学びを中心として、社会教育における多様な学びの形、成人教育・青少年の特徴、公民館等で行う「学習支援」などについてお話しいただきました。

また、受講者に事前アンケートを実施して、佐々木先生に質問という形で提示し、お答えいただきました。

公民館について考える際、社会教育法の解釈という視点が非常に重要になることを踏まえ、主に「公民館」に関係する部分を丁寧に説明されました。その上で、多様な人々が集う公民館となるための仕掛けや講座を企画する視点、公民館が地域住民間の交流やネットワークづくりに重要な役割を担っていることを示されました。

先生のお話は、簡単にできるワークショップの技法を交えながらのもので、参加者同士が学び合う様子が多く見られ、対面学習の意味を改めて感じるものとなりました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・ 佐々木先生の講義が実践を交えたものだったので、説明が頭に入りやすかった。
- ・ 対面型で講座を提供する場所として、公民館は適しており、PRをしっかりとしていきたいと思った。
- ・ 演習をとおして、コミュニケーションをとることの楽しさ、難しさを感じながら充実した時間を過ごすことができた。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL: 028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp